

「上賀茂社関係文書群」の紹介

町触研究会

一、はじめに

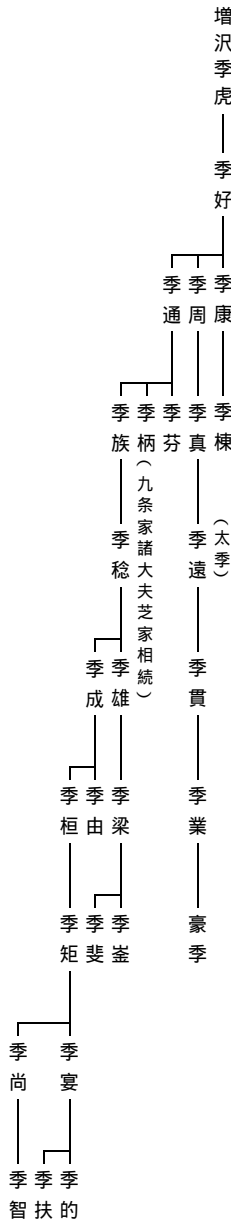
立命館大学文学部学芸員課程には、「岡本家文書」・「増沢家文書」・「賀茂社」・「祝詞」という名称が付けられた、いずれも上賀茂神社（賀茂別雷神社、京都市北区）にかかわる文書が所蔵されている。今回、これらを「上賀茂社関係文書群」として一括して取りあげることにした。なお、本文書群が本学の架蔵によることとなった経緯は明らかではないが、購入によるものと伝えられている。

本文書群の整理は、主に町触研究会（文学部自主ゼミ）に所属する有志によって、一九九七年一〇月から二〇〇二年四月にかけて断続的に行なわれた⁽¹⁾。ただし本文書群は、長年未整理のままであったうえ、明らかに錯乱している⁽²⁾。詳細は後掲する目録を見ていただきたいが、「岡本家文書」以外の三グループは、ある程度の個性と共通点とを併せもっており、同一文書群と考えるおかしくない。それゆえ、本来は錯乱を正した後公表すべきであるが、いずれも上賀茂社に関する文書であるため、出所の判断に迷うものが多数ある。さらに、「祝詞」などの名称は近年付けられたものであり、搬入された段階で既に錯乱していた可能性も捨てきれない。これらの理由により、整理者の恣意による無理な整理を避け、現状のまま公表することにした。

増沢家文書

増沢家は、賀茂県主一族の「季一流」と呼ばれる一門に属しており、増沢季虎から季真までの四代は内裏天満宮神主職を務めている。このうち季周は能書家として知られ、後西院に度々手本を献上しているという。また季周の弟で当家の初代と位置付けられる季通（一六一九〜九三）も、「賀茂注進雜記」の撰者の一人として知られる。

系図 2



増沢家について注目されるのは、撰関家の一つである九条家との関係である。季周の子の季寛は、最初は今出川家の諸大夫であったが、後に九条輔実の娘の輔子（瑞祥院大夫人）の輿入れに従って尾張徳川家に仕え、江戸に住したとされ、季通の三男の季柄は、九条家の諸大夫である芝家を継承している。さらに季通自身も「水無瀬是空御伝授之和歌之テニヲハノ大事」を九条幸家から相伝しているという。このような九条家との関係の深さは、後に触れる御流神道の相承ともかかわることであり、注意が必要である。また、「賀茂社」・「祝詞」には、九条家との関係を示唆する祝詞も含まれており（B 21・B 18）、元来は同一の文書群であったことをうかがわせている。

本グループの総点数は二七点で、「上賀茂社関係文書群」の中でもっとも多い。内容からは、主に以下のものがあげられる。

- A 神 事 …… 葵祭の乗戻の記録や、年中行事の次第書など。
- C 神 道 …… 賀茂御流神道の伝授に関する記録や、「中臣祓」、「日本書紀」神代巻に関する書物など。
- D 系図・社職 …… 賀茂奥主一族の各流の系図、及び神職等の補任録など。
- E 記 録 …… 江戸時代の賀茂社の記録。正保・寛文など十七世紀のものも多い。
- F 文化・教養 …… 「千字文」、「孟子」などの中国古典や、「親長卿記」などの写本。
- G 武 芸 …… 兵法の「合武伝法」や日置流の弓術関係の伝書等。
- これらの中で注目されるのは、G武芸に分類した「暮目口伝」から判明する垂加神道・橘家神道で著名な玉木正英（葦斎）との関係であろう。後掲する「祝詞」に含まれる元禄四年「橘家鳴弦巻」一卷は、同じく上賀茂社である藤木成章に正英が伝授したものであり、玉木正英が複数の上賀茂社家に影響を与えていたことを確認できる。
- ただ増沢家の場合、このほかにも日置流弓術・自然流剣術・起倒流柔道術・兵学の「合武伝法」などが見られ、特定の個人が武芸を好んだというわけではなく、季雄・季梁・右京など、歴代が武芸に関心を持っていたことがわかる。橘家神道は橘諸兄以来の神道を称していたが、軍学や陰陽五行説をふまえていたことに特徴があるため、増沢家との関係も武芸とのかかわりの中で生じたものかもしれない。
- なお、本グループには、過去に整理を試みた形跡があり、「上賀茂増沢家記録」と記入されたラベルや史料名を記さないラベルが貼られたものが多数ある。しかし、それらの中には、既に剥がれたものや虫損しているものがあるため、新たに番号を付した。

賀茂社

特定の社家にかかわらない文書群として、「賀茂社」というグループが作られている。ただし最初に述べたことく、

610 今回紹介する文書群はいずれも上賀茂社に關係するものであるから、名称が不適當であることはいなめない。あくまでも「仮称」として、従来付されていた名称を使用している。

主な内容は、次のとおりである。

B 祈 禱 …… 主に寛永年間に上賀茂社・貴布祢社で行われた將軍・女院關係者の諸種の祈禱札や巻数。

C 神 道 …… 大半が中世の印信。御流神道のものと思われるが、中には明らかに三輪流神道の影響を受けているものも見いだされる。

F 文化・教養 …… 長唄の稽古本や、漢籍の抜書、明治期の学習記録など。

これらの中でもっとも注目されるのはC神道に分類した賀茂御流神道の關係文書であるが、これについては後に改めて述べることにする。

祝 詞

特定の社家にかかわらない文書群の二つ目として、「祝詞」というグループが作られている。総点数は五三点と、「上賀茂社關係文書群」の中ではもっとも少ない。主な内容は以下のとおり。

B 祈 禱 …… 寛永から承応年間までの祈禱に関するもの。賀茂社の祝詞や青蓮院の巻数などがある。

C 神 道 …… 大半が中世の印信。内容も、「賀茂社」と同じく御流神道のものであろう。また、元和三年の性慶による附法状がある。

目録を見て気付かれるように、
 ・ ・ ・ の3グループには増沢家關係者が多数見られる。加えて
 ・ はともに「神道印信」や祈禱関連の文書（祈禱札・祝詞・巻数）を多く含んでおり、内容面での共通性も強い。これらのこと

から、多少の混入はあるものの、元来はこの3グループが一つの文書群をなしていた可能性が高いと判断できよう。

今回紹介する「上賀茂社関係文書群」の概要は、以上のようである。全体的に、一七世紀から一八世紀初頭までのものが比較的多いのが特徴であろう。なお本目録では以上のような各グループの類似性を踏まえ、分類項目を統一した。各グループを項目別に集計すると表1のようになる。

三、「神道印信」の関連史料

上賀茂神社で相伝されていた神道については、管見の限りでは言及した論考は見あたらない。しかし、神道五部書の一つと位置づけられる「倭姫命世記」が上賀茂社家の岡本保可所蔵本を祖本として流布していったことから想起されるように、山城国一宮であった賀茂社が、中近世の神道学説に大きな影響力を与えたことは想像にかたくないだろう。

今回紹介する文書群において注目されるのは、上賀茂社における神道伝授の具体的な史料が含まれることである。特に、小池坊性慶から授与された御流神道の灌頂印信がまとまって伝わっていることが注目される。

内容についてはここでは深くは触れないが、仁和寺聖経の中に、本文書群に含まれる神道印信に酷似したものがあ
る点に触れておかねばならない。たとえば、仁和寺聖経の中には、伝灯大阿闍梨法印行慶が行与に授与した印信が三
九通あるが、本文書群の中にも同一人物による同日付の印信が一七通ある。これらは、筆跡も酷似しており、一見し
て一連のものであるとわかる。

表1 分類項目別の文書点数一覧

	岡本	増沢	賀茂	祝詞	小計
A	-	27	7	-	34
B	-	-	23	23	46
C	-	21	55	19	95
D	95	37	6	-	138
E	13	31	1	-	45
F	-	41	26	2	69
G	-	45	-	1	46
H	-	5	4	-	9
I	-	8	16	3	27
J	-	11	44	3	58
K	-	1	-	2	3
計	108	227	182	53	570

また本文書群に含まれる印信の構成は、元和三年十月吉日付「神道印信目録」(「賀茂」C31の6)に記載されている。これによると印信は、一重、九重および極秘の一〇種に分けられており、その内容は「八十通印信」とほぼ合致している。これらの印信を上賀茂にもたらした性慶については、天理図書館(吉田文庫)に関連する史料がある。同文庫所蔵の「神道印信目録」中の「血脈図」は、「…阿巖 教実」で終わっているが、本文書群中の「血脈図」(「賀茂」C34の5)では次のようになっている。(は割書)

大日本記相伝

国常立尊 天神七代 如常 日神地神五代 如常
 神武天皇乃至代々 如常 桓武 平城 嵯峨 淳和 仁明 文徳 清和 陽城(マ) 光孝 宇多 醍醐等帝々如常
 弘法 真雅 源仁 益信 寛平 寛空 元杲 仁海 成尊 秀海 実印 浄真 性遍 秀範 湛賢 弘賢 弘印
 一咩 祐光 高海 円海 明海 祐尊 慶賢 良遍 宥尊 頼尊 貞祐 阿巖 教実 性慶
 つまり、ここで上賀茂の社家に「御流神道」を授与した性慶は、「吉田文庫」中の「血脈図」で最後に記された教実の付弟なのである。

このように、本文書群中の印信には、他にも多数の関連史料がある。それゆえ、その内容の検討にあたっては、これらの諸所に分蔵される関係資料を総合して論じる必要がある。ただし、本稿の目的は史料紹介であるので、現段階では関係を指摘するに止め、詳細な検討は今後の課題とし、以下では、主に賀茂社に神道を伝授した人々について、調べ得たことを記すに止めたい。

四、伝授者の検討

本文書群には、伝授者として行慶・勢教・信誓・性慶の名が見えるが、このうち性慶以外の人物については管見の

限り他見がないため、わからない。

性慶は、元禄ごろのものと考えられる「賀茂社禰宜神主系図」(以下では「神主系図」と略称⁽⁵⁾)に、その名が見える。この「神主系図」には、上賀茂氏人の間における神道・口伝の伝授系統が注記されているが、その中で御流神道を授与した人物として、彼の名が見えるのである。「御流神道」を授与した人物としては、他にも法身院晋海・正春坊朝実・九条幸家の名が見いだせるので、以下ではこの四名について記す。

A 法身院晋海(？)一六一一)

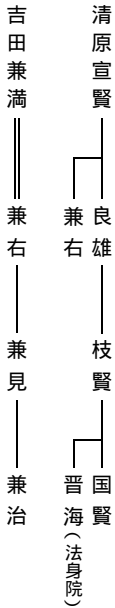
少納言清原(船橋)氏の出身。枝賢の子、国賢の弟にあたる(系図3参照)。はじめ神護寺法身院で出家し、仁和寺の任助法親王から伝法灌頂を受ける。後に徳川家康の帰依を受け、神護寺領安堵の朱印を得るなどしてその復興に尽力した。晩年は法身院に住し、西明寺の再興にもたずさわっている。

一般的に知られる業績からは、神道との関係は全く見出せないが、「神主系図」によると、慶長七年(一六〇二)に神道三科を氏人に伝授している。

B 小池坊性慶(？)元和ころ)

出自未詳。近世に小池坊といえ、長谷寺を指すのが一般的だが、管見の限り長谷寺関係の史料に彼の名を見いだすことはできない。天正十三年に焼き払われた根来寺は慶長五年(一六〇〇)に帰住が始まっており、元和六年段階では既に復興が相当進んでいる。性慶に関して、

系図3



「根来寺小池坊」と記したものもあるので、「祝詞」F 44・三重県二見町の牛頭天王社所蔵祭文の奥書、性慶の住む小池坊が根来寺にあつたと考えてもおかしくないであろう。

管見の限りでは、性慶の活動時期は元和年間に限られている。上賀茂社では、元和三年（一六一七）に氏仙ら十二人へ御流神道を伝授している（「神主系図」）。これは今回紹介する目録でも確認でき、「祝詞」C 42に良直宛の附法状がある。

愚見によると、性慶に関する明確な史料はこれらのみであり、教実から御流神道を伝授した経緯や前後の活動については明らかにしない。ただし、元和四年十一月廿一日付「伝灯法印様工先可得御意事」（「祝詞」I 46）に見える「伝灯法印様」は、性慶である可能性が高いと考えている。この文書は、伊勢神宮への参詣について書かれたものであるため、この「伝灯法印」が性慶であるならば、伊勢との関係を考える必要がある。

C 正春坊朝実（寛永ころ）

出自未詳。肥前国金立山（現・佐賀市金立町、金立神社）の座主であり、法身院普海の付弟であつたが、金立神社の座主坊であつた雲上寺（真言宗）は、明治の廃仏毀釈で廃寺になつており、詳細はわからない。

上賀茂での朝実の活動は、寛永四年（一六二七）、六年、十三年に神道三科を伝授したことが、「神主系図」により確認できるが、本目録では関係するものは見あたらない。

D 九条幸家（忠栄、一五八六～一六六五）

従一位、関白・左大臣。五摂家の一の九条家の主。正室は豊臣元子（徳川秀忠正室お江の方の娘、淀君の養女）。

安政四年三月写「慶安三年九条幸家公神道御相伝記」（「増沢」C 32）によると、幸家は、吉田兼治・正春坊朝

実・室生山建海の三名から神道を伝授されている。吉田兼治は吉田兼見の子で、唯一神道吉田家の主（系図3参照）、朝実は前述のように晋海の付弟。建海については不明だが、室生山は御流神道と関係が深いので、晋海もしくは、その周辺の人物から御流神道を相承していた人物と考えられる。「相伝記」では、幸家がこの三名から伝授を受けたことよって、「高雄法身院之流儀察然得、継正脈」といい、晋海の正脈を継いだと認識しているのが注目できる。

上賀茂での幸家の活動は、慶安元年（一六四八）、三年、明暦三年（一六五七）に確認できる（「神主系図」）。なお「相伝記」には、幸家の伝授した御流神道が、上賀茂社家の中で継承されたさまが系図によって示されており、そこには増沢家の歴代がほぼ現れている。前述したような九条家と増沢家の関係や、今回紹介する文書群の性格を考えるにあたって、重要である。

このように、上賀茂社家に「御流神道」を伝授していた人々は、真言系（神護寺・根来寺・室生山）の人物が多いことがわかる。これまで、中世以降の賀茂社については、天台系とのかわりが指摘されていたが、教学の授受がそのような中世以来の系統とは異なった系統であることが明らかになった。

また、上賀茂社への御流神道の伝授には、唯一神道の吉田家の影響を考慮する必要がある。吉田家と上賀茂の関係は、すでに兼見の時には見いだせ（『兼見卿記』天正十二年四月十九日条など）、加えて晋海の生家である清原氏は吉田家と近親関係にあり（系図3参照）、両家の交流は『慶長日件録』や『兼見卿記』からうかがえる。晋海自身についてはわからないが、又従兄弟にあたる吉田兼治が晋海の流の御流神道を相承していると認識されていたことも、両家の関係によるものであろう。

以上のように、上賀茂における御流神道の検討には、真言系寺院や吉田家（唯一神道）の影響を考慮する必要がある。この点は今後の内容検討においても留意しておく必要がある。

むすび

今回紹介する「上賀茂社関係文書」の概要は以上であるが、上賀茂社の御流神道についてはほとんど研究がなく、現状では不明とせざるを得ない点が多い。また今回は内容の分析まではできなかったが、本文書群には賀茂御流神道について示してくれるものが多く含まれているので、それらの考究には別の機会を持ちたいと考えている。

註

- (1) 町触研究会による文書整理は平成四年度から続けられており、以後、継続して有志による虫干しなどを行っている。だが、現状では薰蒸などの処理は見込めず、シバンムシやシミによる虫損が進行している。なお、これまでに作成した文書目録等は『立命館史学』誌の各号に掲載されている。参照されたい。
- (2) 具体的には各グループの解説を参照されたいが、それ以外にも「立命館文庫」という印の捺されたものが一点だけ含まれている。該文書は内容面でも賀茂社とはかがわりのないことから、外部より混入したものと思われる。該文書は、目録中の宛先欄に「立命館文庫」であることを明記して示した。
- (3) 以下、本稿で言及する上賀茂社家の系譜・経歴は主に「賀茂社家系図」(『神道大系 神社篇 賀茂』神道大系編纂会・一九八四年)・「賀茂社家惣系図」(「馬場義一家文書」京都市歴史資料館所蔵写真帳)・「地下家伝」巻十八による。系図1・2はそれらに拠り作成した。
- (4) 阿部泰郎編(名古屋大学比較人文学研究年報 第二集)仁和寺資料【神道篇】神道灌頂印信(名古屋大学文学部比較人文学研究室・二〇〇〇年)。なお本史料の所在は、松本郁代氏(本学研究生)のご教示による。
- (5) 「馬場義一家文書」(京都市歴史資料館所蔵写真帳)。
- (6) 「御流神道護摩次第」(「岩佐氏熙家文書」D2の78。京都市歴史資料館所蔵写真帳)。

〔目録凡例〕

一、本目録は、立命館大学文学部学芸員課程が所蔵する「岡本家文書」、「増沢家文書」、「祝詞」、「賀茂社」のものであり、これらをまとめて「上賀茂社関係文書群」とする。

一、本目録では、各グループごとに一連番号を付し、次の分類項目によって分類した。

A 神事、B 祈祷、C 神道、D 系図・社職、E 記録、F 文化・教養、G 武芸、H 諸願、I 諸触・法令、J 諸証文・書状、K その他
一、各文書について、番号・文書名・作成年月日・差出人（作成者）・受取人（宛先）・形状・員数を記した。

一、文書名は、原則として原文書に付けられているものを採用し、原文書の名称に補足する場合は（ ）を、内容に基づいて新たに名称を付した場合は「 」を用いた。なお「岡本家文書」中の口宣案では、慣例に従って名称を付したが、各文書の内容を補足したため、やむを得ず二種の括弧を併用している。

一、作成年月日について、日記や記録など内容が長期にわたる場合は、その初めをとり、後に「〜」を付した。

一、差出人・受取人の人数が多数いる場合は、代表者として一人を示し、「他」と付した。

一、「岡本家文書」中の口宣案では、差出人（作成者）欄に担当上卿と蔵人の名を示した。またこれらの人名は『公卿補任』によって比定したものをあげたが、確実に比定できない場合は、「 」内に文書中の記載通りに記した。

一、本目録の解題執筆は井上幸治（本学非常勤講師・京都市歴史資料館勤務）が担当したが、各文書の目録作成は、本学文学部の自主ゼミ「町触研究会」の活動の一環として行なっており、主に同研究会に所属する院生・学部生らの共同成果である。なお、この活動への参加者は次のとおり。（所属等は、いずれも二〇〇三年一月現在のもの）

安田歩（甲南中学）・水島博（岡山市史編纂室嘱託）・前田淳（株）ハードオフ・コーポレーション）・磯本香織（京都教育大学科目等履修生）・上田長生（本学研修生）・本郷浩二（本学博士前期課程）・小倉靖子（東京海上火災保険（株））・蓮尾由希子（溝江建設（株））・西山純加（病院勤務）・藤井敏正（会社勤務）・山下典子（旧姓八木、東京都立大学科目等履修生）・高本麻衣子（二〇〇一年度学部卒業）・大根田康介（本学四回生）・滑川敦子（本学四回生）

立命館大学文学部所蔵「上賀茂社関係文書群」目録

A 神事、B 祈禱、C 神道、D 系図・社職、E 記録、F 文化・教養、G 武芸、H 諸願、I 諸触・法令、J 諸証文・書状、K その他

〔「岡本家文書」目録〕

(D系図・社職)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人宛先	形状	員数
1	〔明正天皇口宣案(任左近将監)〕	寛永 9. 6. 24	大納言三条実秀・右中弁葉室頼業	賀茂清屋	豎紙	一通
2	〔明正天皇口宣案(叙正六位上)〕	寛永19. 6. 24	大納言三条実秀・右中弁葉室頼業	賀茂清屋	豎紙	一通
3	〔靈元天皇口宣案(任出雲守)〕	寛文 5. 2. 29	「権大納言」・左少弁甘露寺方長	賀茂清屋	豎紙	一通
4	〔靈元天皇口宣案(叙従五位上)〕	延宝 5. 6. 24	中納言平松時量・右少弁清閑寺熙定	賀茂清屋	豎紙	一通
5	〔靈元天皇口宣案(叙従五位上)〕	貞享 1. 10. 13	中納言松木宗頭・頭左中将中山篤親	賀茂清屋	豎紙	一通
6	〔東山天皇口宣案(叙正六位上)〕	元禄 2. 4. 16	大納言今出川伊季・頭右大弁葉室頼重	賀茂清房	豎紙	一通
7	〔東山天皇口宣案(任内蔵権助)〕	元禄 2. 4. 16	大納言今出川伊季・頭右大弁葉室頼重	賀茂清房	豎紙	一通
8	〔東山天皇口宣案(叙正五位下)〕	元禄 4. 12. 21	大納言久我通誠・頭右中将今城定経	賀茂清屋	豎紙	一通
9	〔東山天皇口宣案(叙従四位下)〕	元禄 9. 5. 23	大納言久我通誠・頭左中弁坊城俊清	賀茂清屋	豎紙	一通
10	〔東山天皇口宣案(叙従五位下)〕	元禄10. 12. 26	「権大納言」・左少弁広橋兼廉	賀茂清房	豎紙	一通
11	〔東山天皇口宣案(叙従五位下)〕	元禄13. 12. 25	大納言中山篤親・右中弁広橋兼廉	賀茂清房	豎紙	一通
12	〔東山天皇口宣案(叙従五位下)〕	元禄15. 12. 23	右大将今出川伊季・頭右大弁日野輝光	賀茂清房	豎紙	一通
13	〔中御門天皇口宣案(叙正五位下)〕	宝永 8. 2. 11	中納言日野輝光・右少弁烏丸光栄	賀茂清房	豎紙	一通
14	〔中御門天皇口宣案(叙従四位下)〕	享保 2. 12. 25	大納言坊城俊成・頭左中将楠節隆成	賀茂清敬	豎紙	一通
15	〔中御門天皇口宣案(叙正六位上)〕	享保13. 12. 11	大納言清水谷雅季・頭左中弁中御門言誠	賀茂清敬	豎紙	一通
16	〔中御門天皇口宣案(叙従五位下)〕	享保20. 4. 28	大納言久我通兄・権左中弁広橋兼胤	賀茂清敬	豎紙	一通
17	〔中御門天皇口宣案(叙従四位上)〕	享保20. 10. 9	大納言徳大寺実憲・権左中弁広橋兼胤	賀茂清房	豎紙	一通
18	〔中御門天皇口宣案(叙従五位下)〕	享保20. 12. 24	中納言坊城俊将・右少弁勳修寺顕道	賀茂清敬	豎紙	一通

- 19 〔按町天皇口宣案（任右京權亮）〕 元文 2. 2. 19 中納言坊城俊將・頭權左中弁広橋兼胤 賀茂清敏 豎紙 一通
- 20 〔按町天皇口宣案（任掃部權助）〕 元文 3. 3. 12 「源大納言」・頭右大弁広橋兼胤 賀茂清敏 豎紙 一通
- 21 〔按町天皇口宣案（叙從五位下）〕 實保 3. 12. 12 左兵衛督柳原光綱・右中弁烏丸清胤 賀茂清敏 豎紙 一通
- 22 〔桃園天皇口宣案（叙從五位上）〕 貞延 2. 4. 1 大納言清閑寺秀定・左中弁日野西資興 賀茂清敏 豎紙 一通
- 23 〔桃園天皇口宣案（叙正五位下）〕 宝曆 2. 6. 10 「日野大納言」・右少弁日野資枝 賀茂清敏 豎紙 一通
- 24 〔桃園天皇口宣案（任淡路守）〕 宝曆 3. 6. 7 大納言広橋兼胤・頭右中弁清閑寺益房 賀茂清敏 豎紙 一通
- 25 〔桃園天皇口宣案（叙從六位上）〕 宝曆 3. 6. 7 大納言広橋兼胤・頭右中弁清閑寺益房 賀茂清敏 豎紙 一通
- 26 〔桃園天皇口宣案（叙從六位下）〕 宝曆 11. 12. 24 中納言平松時行・左少弁広橋伊光 賀茂清敏 豎紙 一通
- 27 〔桃園天皇口宣案（叙從五位下）〕 宝曆 12. 3. 29 左衛門督油小路隆前・広橋伊光 賀茂清敏 豎紙 一通
- 28 〔後按町天皇口宣案（任右衛門少尉）〕 明和 2. 9. 13 大納言油小路隆前・頭在中弁柳原紀光 賀茂清敏 豎紙 一通
- 29 〔後按町天皇口宣案（叙正六位上）〕 明和 6. 1. 29 大納言油小路隆前・頭在中弁柳原紀光 賀茂清敏 豎紙 一通
- 30 〔後桃園天皇口宣案（任伊豆守）〕 明和 8. 3. 24 民部卿油小路隆前・頭左大弁柳原紀光 賀茂清敏 豎紙 一通
- 31 〔後桃園天皇口宣案（叙從六位下）〕 明和 8. 3. 24 中納言正親町公明・權右中弁裏松謙光 賀茂清敏 豎紙 一通
- 32 〔後桃園天皇口宣案（叙從五位下）〕 安永 1. 12. 19 「日野大納言」・左少弁葉室頼熙 賀茂清敏 豎紙 一通
- 33 〔後桃園天皇口宣案（任出雲守）〕 安永 5. 2. 1 「日野大納言」・頭右大弁勸修寺經逸 賀茂清敏 豎紙 一通
- 34 〔後桃園天皇口宣案（叙從六位上）〕 安永 6. 9. 20 「日野大納言」・頭右大弁勸修寺經逸 賀茂清敏 豎紙 一通
- 35 〔後桃園天皇口宣案（伊豆守如旧）〕 安永 6. 9. 20 「日野大納言」・頭右大弁勸修寺經逸 賀茂清敏 豎紙 一通
- 36 〔後桃園天皇口宣案（叙正六位下）〕 安永 8. 3. 19 大納言広橋伊光・左少弁葉室頼熙 賀茂清敏 豎紙 一通
- 37 〔後桃園天皇口宣案（叙從六位下）〕 安永 8. 3. 19 大納言広橋伊光・左少弁葉室頼熙 賀茂清敏 豎紙 一通
- 38 〔後桃園天皇口宣案（任右兵衛尉）〕 安永 9. 8. 26 大納言広橋伊光・右少弁万里小路文房 賀茂清敏 豎紙 一通
- 39 〔光格天皇口宣案（遷任加賀守）〕 天明 3. 12. 22 大納言今出川実種・頭左中將油小路隆彭 賀茂清敏 豎紙 一通
- 40 〔光格天皇口宣案（叙正六位下）〕 天明 3. 12. 22 大納言今出川実種・頭左中將油小路隆彭 賀茂清敏 豎紙 一通
- 41 〔光格天皇口宣案（叙正六位下）〕 天明 3. 12. 22 大納言今出川実種・頭左中將油小路隆彭 賀茂清敏 豎紙 一通
- 42 〔光格天皇口宣案（左衛門少尉如旧）〕 天明 3. 12. 22 大納言今出川実種・頭左中將油小路隆彭 賀茂清敏 豎紙 一通
- 43 〔光格天皇口宣案（任豐前守）〕 天明 4. 2. 16 中納言勸修寺經逸・左中弁坊城俊親 賀茂清敏 豎紙 一通
- 44 〔光格天皇口宣案（叙正五位下）〕 天明 4. 12. 19 中納言鸕尾隆建・左中弁坊城俊親 賀茂清敏 豎紙 一通

- 45 [光格天皇口宣案(叙從六位上)] 天明 5. 2. 28 大納言日野資枝・左中弁坊城俊親 賀茂清静 豎紙 一通
- 46 [光格天皇口宣案(叙從五位下)] 天明 5. 3. 20 中納言鸞尾隆建・左少弁勳修寺良顯 賀茂清静 豎紙 一通
- 47 [光格天皇口宣案(叙從四位下)] 寬政 1. 4. 5 中納言日野資矩・權右中弁広橋胤定 賀茂要清 豎紙 一通
- 48 [光格天皇口宣案(叙正六位下)] 寬政 3. 2. 18 中納言葉室頼熙・權右中弁広橋胤定 賀茂要清 豎紙 一通
- 49 [光格天皇口宣案(叙從五位上)] 寬政 3. 2. 18 中納言葉室頼熙・權右中弁広橋胤定 賀茂要清 豎紙 一通
- 50 [光格天皇口宣案(叙從四位上)] 寬政 5. 3. 28 大納言中山忠尹・權右中弁葉室頼寿 賀茂清静 豎紙 一通
- 51 [光格天皇口宣案(叙正五位下)] 寬政 5. 12. 19 大納言中山忠尹・右少弁烏丸資董 賀茂清静 豎紙 一通
- 52 [光格天皇口宣案(任豐後介)] 寬政 6. 12. 21 大納言中山忠尹・右中弁柳原均光 賀茂清静 豎紙 一通
- 53 [光格天皇口宣案(為氏神社祝)] 寬政 8. 8. 28 中納言坊城俊親・右中弁葉室頼寿 賀茂要清 豎紙 一通
- 54 [光格天皇口宣案(叙正四位下)] 寬政 9. 1. 21 中納言坊城俊親・右中弁葉室頼寿 賀茂要清 豎紙 一通
- 55 [光格天皇口宣案(兼左衛門少尉)] 寬政 10. 2. 20 大納言葉室頼熙・右中弁葉室頼寿 賀茂清静 豎紙 一通
- 56 [光格天皇口宣案(叙從五位下)] 寬政 10. 10. 25 大納言坊城俊親・右中弁烏丸資董 賀茂要清 豎紙 一通
- 57 [光格天皇口宣案(軀氏神社禰宜)] 寬政 10. 10. 25 大納言坊城俊親・右中弁烏丸資董 賀茂要清 豎紙 一通
- 58 [光格天皇口宣案(任播磨守)] 寬政 13. 1. 21 中納言広橋胤定・權右中弁甘露寺国長 賀茂清静 豎紙 一通
- 59 [光格天皇口宣案(叙從五位上)] 享和 1. 3. 21 中納言広橋胤定・權右中弁甘露寺国長 賀茂清静 豎紙 一通
- 60 [光格天皇口宣案(叙從四位上)] 享和 3. 5. 3 大納言清閑寺規定・左少弁裏松明光 賀茂要清 豎紙 一通
- 61 [光格天皇口宣案(軀沢田社祝)] 享和 3. 8. 25 大納言清閑寺規定・左少弁裏松明光 賀茂要清 豎紙 一通
- 62 [光格天皇口宣案(軀奈良社禰宜)] 文化 2. 4. 7 左衛門督広橋胤定・左少弁裏松明光 賀茂清静 豎紙 一通
- 63 [光格天皇口宣案(軀奈良社祝)] 文化 2. 4. 7 中宮權大夫德大寺公迪・左少弁万里小路建房 賀茂清静 豎紙 一通
- 64 [光格天皇口宣案(叙從五位上)] 文化 2. 4. 7 中納言柳原均光・左少弁万里小路建房 賀茂清静 豎紙 一通
- 65 [光格天皇口宣案(叙從五位上)] 文化 3. 11. 26 中納言滋野井公敬・右中弁裏松明光 賀茂要清 豎紙 一通
- 66 [光格天皇口宣案(軀奈良社禰宜)] 文化 4. 3. 26 中納言滋野井公敬・右中弁裏松明光 賀茂要清 豎紙 一通
- 67 [光格天皇口宣案(叙正四位下)] 文化 6. 4. 8 中納言滋野井公敬・左少弁坊城俊明 賀茂清静 豎紙 一通
- 68 [光格天皇口宣案(叙正五位下)] 文化 8. 3. 26 大納言広橋胤定・左少弁勳修寺経則 賀茂清静 豎紙 一通
- 69 [光格天皇口宣案(叙從五位下)] 文化 8. 3. 26 大納言広橋胤定・左少弁勳修寺経則 賀茂清静 豎紙 一通

- 70 〔光格天皇口宣案（叙從四位下）〕 文化10. 3. 22 大納言広橋胤定・左少弁勳修寺經則 賀茂清弼 豎紙 一通
- 71 〔光格天皇口宣案（乾若宮禰宜）〕 文化10. 9. 17 中納言甘露寺国長・權右中弁勳修寺經則 賀茂要清 豎紙 一通
- 72 〔光格天皇口宣案（兼出羽介）〕 文化12. 1. 28 中宮權大夫広幡經豐・右中弁中御門經定 賀茂清弼 豎紙 一通
- 73 〔光格天皇口宣案（叙正六位下）〕 文化12. 1. 28 中宮權大夫広幡經豐・右中弁中御門經定 賀茂清弼 豎紙 一通
- 74 〔光格天皇口宣案（叙從六位下）〕 文化13. 1. 21 中納言庭田重能・權右中弁広橋光成 賀茂常清 豎紙 一通
- 75 〔光格天皇口宣案（叙從五位上）〕 文化14. 4. 12 中納言万里小路建房・左少弁葉室顯孝 賀茂尚清 豎紙 一通
- 76 〔光格天皇口宣案（叙正五位下）〕 文化14. 4. 12 中納言万里小路建房・左少弁葉室顯孝 賀茂常清 豎紙 一通
- 77 〔仁孝天皇口宣案（叙從五位上）〕 文政4. 3. 27 右衛門督万里小路建房・左少弁柳原隆光 賀茂清弼 豎紙 一通
- 78 〔仁孝天皇口宣案（任越後介）〕 文政4. 4. 12. 19 大納言鸞尾隆純・右中弁葉室顯孝 賀茂清弼 豎紙 一通
- 79 〔仁孝天皇口宣案（右衛門少尉如日）〕 文政5. 1. 18 大納言日野資愛・右中弁葉室顯孝 賀茂清弼 豎紙 一通
- 80 〔仁孝天皇口宣案（叙從五位下）〕 文政5. 1. 18 大納言日野資愛・右中弁葉室顯孝 賀茂清弼 豎紙 一通
- 81 〔仁孝天皇口宣案（任出羽守）〕 文政5. 3. 22 大納言日野資愛・右中弁葉室顯孝 賀茂清弼 豎紙 一通
- 82 〔仁孝天皇口宣案（叙正四位下）〕 文政10. 3. 16 「權大納言」・中弁柳原隆光 賀茂清弼 豎紙 一通
- 83 〔仁孝天皇口宣案（叙從六位下）〕 文政10. 7. 29 「權大納言」・權右少弁日野西光暉 賀茂清弼 豎紙 一通
- 84 〔仁孝天皇口宣案（任左衛門少尉）〕 文政12. 2. 14 皇太后宮大夫德大寺実堅・權右少弁日野西光暉 賀茂清弼 豎紙 一通
- 85 〔仁孝天皇口宣案（叙從五位上）〕 天保6. 1. 12 中納言清水谷実楨・左少弁坊城俊克 賀茂清省 豎紙 一通
- 86 〔仁孝天皇口宣案（叙從五位下）〕 天保8. 3. 11 右大將花山院家厚・頭左中弁万里小路正房 賀茂清弼 豎紙 一通
- 87 〔仁孝天皇口宣案（叙正五位下）〕 天保10. 12. 19 大納言清水谷実楨・左少弁裏松恭光 賀茂清省 豎紙 一通
- 88 〔仁孝天皇口宣案（叙從五位上）〕 天保13. 3. 16 大納言清水谷実楨・右中弁坊城俊克 賀茂清省 豎紙 一通
- 89 〔仁孝天皇口宣案（叙從五位下）〕 天保14. 3. 11 「權大納言」・右中弁坊城俊克 賀茂清省 豎紙 一通
- 90 〔孝明天皇口宣案（叙正五位下）〕 文久2. 3. 5 中納言坊城俊克・左少弁甘露寺勝長 賀茂清榮 豎紙 一通
- 91 〔孝明天皇口宣案（叙從六位下）〕 文久2. 3. 5 中納言坊城俊克・左少弁甘露寺勝長 賀茂清榮 豎紙 一通
- 92 〔孝明天皇口宣案（任筑後介）〕 文久3. 12. 29 中納言日野資宗・頭右大弁中御門經之 賀茂清來 豎紙 一通
- 93 〔孝明天皇口宣案（叙正六位上）〕 文久3. 12. 29 中納言日野資宗・頭右大弁中御門經之 賀茂清來 豎紙 一通

22 94 〔度会県補任状（任度会県少属）〕

明治 2. 8. 17 知事橋本実梁・大参事景福

賀茂清伸 縦紙一通

95 〔証文包紙〕

-

- 包紙 一通

〔E記録〕

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
96	〔岡本清朔日記〕	文化15. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
97	〔岡本清朔日記〕	文政 2. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
98	〔岡本清朔日記〕	文政 3. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
99	〔岡本清朔日記〕	文政 4. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
100	〔岡本清朔日記〕	文政 5. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
101	〔岡本清朔日記〕	文政 7. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
102	〔岡本清朔日記〕	文政 7. 7. 25	岡本清朔	-	縦帳	一冊
103	〔岡本清朔日記〕	文政 8. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
104	〔岡本清朔日記〕	文政 9. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
105	〔岡本清朔日記〕	文政10. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
106	〔岡本清朔日記〕	文政11. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
107	〔岡本清朔日記〕	文政12. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊
108	〔岡本清朔日記〕	天保 5. 1~	岡本清朔	-	縦帳	一冊

〔増沢家文書〕目録〕

〔A神事〕

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
1	貴布禰四月一日御料調進記	寛永10. 3. 晦	-	-	縦帳	一冊
2	芝田栄参勤記	明暦 2. 11	賀茂季通	-	縦帳	一冊
3	〔鵜馬并代官衆次第二付覧〕	寛文 5	-	-	縦帳	一冊

4	御再興賀茂葵祭次第上社之儀	元禄 7. 4. 中西	-	豎帳	一冊
5	氏人兼役御服所年中行	元禄 7. 4	-	豎帳	一冊
6	復辟次第	享保 1. 11. 朔	-	横半	一冊
7	精進頭人年中簡略之式	享保 8. 11	-	豎帳	一冊
8	御登社家行列	享保 21. 4. 21	-	横半	一冊
9	〔神事次第二付覽〕	宝曆 14. 5	-	豎帳	一冊
10	精進頭人年中勤行略次第	宝曆 14. 6	-	豎帳	一冊
11	由奉幣使御参向二付社頭之儀并諸 役割	明和 1. 12. 2	-	豎帳	一冊
12	奉幣使御参向略次第	明和 5. 11. 13	-	豎帳	一冊
13	〔神前御備覽書〕	安永 7. 2. 8	-	豎帳	一冊
14	調度懸下河辺行平調進之図之事	安永 7. 10. 吉	-	豎帳	一冊
15	競馬乘尻私記	天明 2	-	豎帳	一冊
16	葵祭伝供之次第	寛政 1. 4. 23	-	豎帳	一冊
17	遷幸御列小書	安政 2. 11. 23	-	横半	一冊
18	清被次第	-	-	豎帳	一冊
19	芝田柴次第	-	-	豎帳	一冊
20	年中御神事次第	-	-	豎帳	一冊
21	〔土解祭他次第〕	-	-	豎帳	一冊
22	正月十五日御戸開粥神供備進次第	-	-	豎帳	一冊
23	〔神事次第並献立表〕	-	-	豎帳	一冊
24	貴布禰社御更祭参勤之次第	-	-	豎帳	一冊
25	五月五日御神事之次第	-	-	豎帳	一冊
26	〔神領并馬所名書上〕	-	増沢氏	横帳	一冊
27	行幸官幣御幸(付祈願靈験等	-	-	横帳	一冊
28	〔賀茂精進頭人關係文書綴〕	-	-	豎帳	一綴

(C 神道)

番号	文 書 名	作成年月日	差 出 人 (作成者)	受取人(宛先)	形状	冊数
29	造伊勢二所太神宮宝基本記	永正 6. 2. 21	-	-	竖帳	一冊
30	日本書紀神代講義	慶安 4. 6. 20	-	-	竖帳	一冊
31	〔日本書紀神代三箇大事(伝授記)〕	寛文 1. 5. 4	賀茂季通	-	竖帳	一冊
32	神道講中諸道具之目録	寛文 9. 5. 10	-	-	竖帳	一冊
33	尊号伝授大事	延享 3. 2. 上辭	季雄	-	竖帳	一冊
34	慶安三年九条幸家公神道御相伝記	安政 4. 3 写	重季	-	竖帳	一冊
35	祝詞考 被相	明治 13. 8. 21	増沢季扶	-	竖帳	一冊
36	日本書紀神代抄 上	-	-	-	竖帳	一冊
37	〔延喜式卷第三 神祇三〕	-	-	-	竖帳	一冊
38	御鎮座本紀	-	-	-	竖帳	一冊
39	当宮本縁	-	-	-	竖帳	一冊
40	三州八若郡大照賀神社本記	-	-	-	竖帳	一冊
41	御影像谷祭礼縁起	-	-	-	竖帳	一冊
42	神道講私記	-	重季	-	竖帳	一冊
43	賀茂神道三科妙行次第	-	-	-	竖帳	一冊
44	賀茂有職書	-	賀茂季雄	-	竖帳	一冊
45	阿波良波命記	-	櫛官度会	-	竖帳	一冊
46	宗源妙行	-	-	-	竖帳	一冊
47	弁卜抄	-	延経	-	竖帳	一冊
48	中臣袂	-	-	-	竖帳	一冊
49	中臣袂風水管見帳	-	-	-	竖帳	一冊

(D系図・社職)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人宛先	形状	冊数
50	[賀茂氏系図]	-	-	-	豎帳	一冊
51	第七 直之一流	-	-	-	豎帳	一冊
52	第十二 保之一流	-	-	-	豎帳	一冊
53	清一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
54	第三 清一流 能一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
55	氏一流 平一流	-	-	-	豎帳	一冊
56	久一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
57	久一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
58	保一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
59	直一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
60	俊一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
61	顯一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
62	氏一流之系図	-	-	-	豎帳	一冊
63	松平御年譜	-	-	-	横帳	一冊
64	[神代系図]	-	-	-	豎帳	一冊
65	[系図下書]	-	-	-	切紙	一通
66	[系図表紙]	-	-	-	豎紙	一通
67	親類書留	-	-	-	豎帳	一冊
68	賀茂臈主補任録	寛文12. 1. 14	-	-	豎帳	一冊
69	賀茂臈主補任録	元禄13. 1. 21	-	-	豎帳	一冊
70	賀茂臈主補任録	享保 6. 1. 12	-	-	豎帳	一冊
71	賀茂臈主補任録	元文 6. 1. 12	-	-	豎帳	一冊
72	賀茂臈主補任録	宝曆 8. 6. 14	-	-	豎帳	一冊
73	賀茂臈主補任録	明和 6. 1. 12	-	-	豎帳	一冊

74	〔賀茂梟主補任録〕	-	-	-	-	豎帳一冊
75	〔神主補任録〕	-	-	-	-	豎帳一冊
76	〔禰宜補任録〕	-	-	-	-	豎帳一冊
77	賀茂梟主年齡次第	天保 3	-	-	-	豎帳一冊
78	賀茂梟主年齡次第	-	賀茂清茂	-	-	豎帳一冊
79	元治二年非藏人惣次第	元治 2	-	-	-	豎帳一冊
80	社職子孫彦玄孫玄彦座席之次第	明曆 1	-	-	-	豎帳一冊
81	正祝關職二付差上候口上留	享保 1	-	-	-	豎帳一冊
82	正祝關職二付差上候口上留	享保 1	-	-	-	豎帳一冊
83	權祝職之記	文化 3初冬	賀茂普頭	-	-	豎帳一冊
84	〔小折紙書法帳〕	-	-	-	-	豎帳一冊
85	〔目代・所司仕様之事二付覽〕	-	-	-	-	豎帳一冊
86	〔元清経歴二付返書案〕	-	季雄	-	-	豎紙一通

(E記録)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
87	〔正保五年日記〕	正保 5. 1~	-	-	豎帳一冊	一冊
88	明曆三年記	明曆 3. 1. 1~	賀茂季通	-	豎帳一冊	一冊
89	寛文四年記	寛文 4. 3.15~	-	-	豎帳一冊	一冊
90	〔寛文四年記〕	寛文 4. 3.15~	-	-	豎帳一冊	一冊
91	〔延宝七年日記〕	延宝 7. 1. 1~	-	-	豎帳一冊	一冊
92	天和四甲子年日記	天和 4. 1. 1~	賀茂季通	-	豎帳一冊	一冊
93	〔天和四年日記〕	天和 4	-	-	豎帳一冊	一冊
94	〔日記〕	天和年間か	-	-	豎帳一冊	一冊
95	元禄五壬申年日記	元禄 5. 2~	賀茂季通	-	豎帳一冊	一冊
96	元禄六癸酉年日並記	元禄 6. 1. 1~	賀茂季通	-	豎帳一冊	一冊

97	(元禄十六年日記)	元禄16. 4. 5~	源季柄	-	豎帳	一冊
98	(宝永七年日記)	宝永 7. 12. 18	-	-	豎帳	一冊
99	(享保元年日記)	享保 1. 8. 1~	-	-	豎帳	一冊
100	坂東年頭御使記	享保 4. 2. 24~	-	-	横半	一冊
101	宝曆六丙子年日記	宝曆 6	-	-	豎帳	一冊
102	精進頭人勤行之日記	宝曆14. 3	賀茂季雄	-	豎帳	一冊
103	宝曆十二壬午年直賢精進頭之日記上	宝曆14. 4	賀茂季雄	-	豎帳	一冊
104	宝曆十二壬午年直賢精進頭之日記下	宝曆14. 4	賀茂季雄	-	豎帳	一冊
105	(安永三年日記)	安永 3	-	-	豎帳	一冊
106	十番衆手之日記	天明 3. 1. 22~	-	-	豎帳	一冊
107	十番衆手日記	天明 4	-	-	豎帳	一冊
108	九条様廻状留並日記	文化 5	-	-	豎帳	一冊
109	(勅使下向・將軍上洛二付日記)	文久 2. 10. 12~	-	-	豎帳	一冊
110	文久三年寄人私記 甲	文久 3	増沢季宴	-	豎帳	一冊
111	(日記)	慶応 2. 11. 1~	-	-	豎帳	一冊
112	道中日記	慶応 2	奥山斧右衛門	-	横半	一冊
113	(日記)	慶応 4. 1. 16~	-	-	豎帳	一冊
114	太政官日誌 第一	慶応 4. 2~	-	-	豎帳	一冊
115	開東年頭使日次記	戊寅. 1. 14	-	-	豎帳	一冊
116	(日記)	-	-	-	豎帳	一冊
117	(日記)	-	-	-	豎帳	一冊

(F文化・教養)

番号	文 書 名	作成年月日	差 出 人 (作成者)	受取人(宛先)	形状	頁数
118	楷書千字文	明和 6. 11刊	錢屋七郎兵衛	-	豎帳	一冊
119	行書千字文	明治 13刊	杉本要蔵	-	折本	一冊

627

120	道の綴	文政 1. 11 刊	須磨勳兵衛	-	縦帳一冊
121	孟子(巻1~7)	-	-	-	縦帳一冊
122	周易正義序	-	-	-	縦帳一冊
123	易啓蒙聚要図説	-	-	-	縦帳一冊
124	文章規範作者小伝	-	-	-	縦帳一冊
125	用文章	-	-	-	縦帳一冊
126	澹語抄 全	-	-	-	縦帳一冊
127	新庁用往来	-	-	-	縦帳一冊
128	〔習字手本〕	-	-	-	縦帳一冊
129	九条殿御遺誠 全	-	-	-	縦帳一冊
130	文明年中記(親長卿記)	宝永 9. 5 写	-	-	縦帳一冊
131	〔文明年中記〕	-	-	-	縦帳一冊
132	〔親長卿記一〕	明和 3. 11 写	賀茂季雄	-	縦帳一冊
133	〔親長卿記二〕	明和 3. 11 写	賀茂季雄	-	縦帳一冊
134	〔親長卿記三〕	-	-	-	縦帳一冊
135	政記抜粹 自神武至南北朝	明治 14. 6 写	増沢季扶	-	縦帳一冊
136	(鴨) 祐之伝 従深沢先生講解書	-	増沢季遠	-	縦帳一冊
137	(鴨) 祐之伝 従深沢先生講解書	-	増沢季遠	-	縦帳一冊
138	伊勢物語 下	-	-	-	縦帳一冊
139	〔関ヶ原合戦記〕	-	-	-	縦帳一冊
140	〔徳川家康伝〕	-	-	-	縦帳一冊
141	醉翁亭記	寛文 7 刊	-	-	縦帳一冊
142	見聞雜記	天保 13. 7. 27~	-	-	横半一冊
143	異國物語 全	-	-	-	縦帳一冊
144	双嶋志谷豪傑 全	-	-	-	縦帳一冊
145	〔諸書抜書〕	-	-	-	縦帳一冊

146	〔諸書拔書〕	-	-	-	豎帳一冊
147	古今和歌集 序	壬辰 10. 22	-	-	豎帳一冊
148	〔古今和歌集遠鏡 序〕	天保 2. 4	重誠	-	豎帳一冊
149	眺望集	文政 8. 1刊	橘仙堂・松月堂	-	折本一冊
150	〔仙洞御会始歌集〕	元禄 6. 1. 12	-	-	綴一冊
151	〔韶本〕	-	-	-	豎帳一冊
152	〔啓迪集〕	正保 2. 春写	賀茂季通	-	豎帳一冊
153	御枯鎮錢算取之記	享保 9. 孟冬写	賀茂季通	-	豎帳一冊
154	〔嫁入次第圖説〕	-	-	-	豎帳一冊
155	女児誌本 卷の二 下等科	明治18.2.25刊	吉田静	-	豎帳一冊
156	江戸方角名所杖 全	慶応 2刊	-	-	豎帳一冊
157	近江国大絵図 全	文政 7. 6. 吉	浪華書房	-	地図一冊
158	横浜市図附実測改正東京全図	明治29. 3	栗生田久次郎	-	地図一冊

(G武芸)

番号	文 書 名	作成年月日	差 出 人 (作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
159	橋家墓目秘伝之巻	寛延 4. 5. 12写	徳大寺公城	-	豎帳一冊	一冊
160	〔弓具二付巻〕	安永 8. 11	吉田元直他	-	豎帳一冊	一冊
161	橋家鳴弦口伝巻 上中下	安永 9. 11. 吉	-	-	豎帳一冊	一冊
162	橋矢之工術口授備忘録	天明 1. 9	秦景賢	-	豎帳一冊	一冊
163	日置流指南歌	-	賀茂季雄	-	豎帳一冊	一冊
164	日置流射事足輕勤役極意一集之巻 全	-	-	-	豎帳一冊	一冊
165	日置流射事足輕勤役一集之巻 下	-	-	-	豎帳一冊	一冊
166	橋家墓目口伝秘巻正英聞書	-	-	-	豎帳一冊	一冊
167	〔弓術・弓具二付巻〕	-	-	-	豎帳一冊	一冊
168	〔躰由緒書〕	-	-	-	豎帳一冊	一冊

169	勸進の書	全	-	-	一冊	豎帳
170	合武伝法	制書	-	-	一冊	豎帳
171	合武伝法	八柵 全	-	-	一冊	豎帳
172	合武伝法	行軍卷	-	-	一冊	豎帳
173	合武伝法	行陣卷	-	-	一冊	豎帳
174	合武伝法	自得一武調治卷	-	-	一冊	豎帳
175	合武伝法急勸	科城請渡卷	-	-	一冊	豎帳
176	合武伝法急勸	科城請渡卷 表紙)	-	-	一枚	豎紙
177	合武伝法急勸	攻城之卷(部分)	-	-	一冊	豎帳
178	合武伝法急勸	軍使斥候卷	-	-	一冊	豎帳
179	合武伝法急勸	河陣卷	-	-	一冊	綴
180	合武伝法急勸	一陣武者詞卷	-	-	一冊	豎帳
181	合武伝法	武者詞拔書	-	-	一冊	豎帳
182	合武伝法急勸	八敵變卷 全	-	-	一冊	豎帳
183	合武伝法急勸	音声卷	-	-	一冊	豎帳
184	合武伝法急勸	天宮卷	-	-	一冊	豎帳
185	合武伝法急勸	籠城卷	-	-	一冊	豎帳
186	合武伝法急勸	籠城法	-	-	一冊	豎帳
187	合武伝法急勸	表木勝示卷	-	-	一冊	豎帳
188	合武伝法急勸	兵災卷 首	-	-	一冊	豎帳
189	合武伝法急勸	艱物見卷 全	-	-	一冊	豎帳
190	合武伝法急勸	陣宮卷	-	-	一冊	豎帳
191	合武伝法急勸	夜師卷	-	-	一冊	豎帳
192	合武伝法急勸	定軍卷	-	-	一冊	豎帳
193	合武伝法急勸	自得一芝一偏之法	-	-	一冊	豎帳
194	合武伝法急勸	山陣卷	-	-	一冊	豎帳

七条実久写

七条実久写

195	〔合武伝法急勅 帳外札〕	-	-	-	四枚
196	〔自然流剣法伝授書〕	安永 5. 9. 1	河北雲八郎	-	巻紙 一卷
197	自然流至極巻	安永 9. 3	河北雲八郎 鼎	-	巻子 一卷
198	起倒流柔道組討秘巻写	-	増沢季梁	-	巻紙 一冊
199	御軍法御定	-	-	-	巻紙 一冊
200	刀剣問答 全	寛政 7. 8. 15写	-	-	巻紙 一冊
201	鑑着初之書 一卷	-	-	-	巻紙 一冊
202	〔剣法伝授書〕	明治 3. 4	中嶋市藏 盛徳	増沢右京	巻子 一卷

(H 諸願)

番号	文 書 名	作成年月日	差 出 人 (作成者)	受取人(宛先)	形状	頁数
203	賀茂社司解状写	文永 6. 1. 7	賀茂氏久他	-	巻紙 一冊	一冊
204	〔諸願留写〕	安政 3 ~	-	-	巻紙 一冊	一冊
205	願并届書留	文久 2. 7 ~	-	-	巻紙 一冊	一冊
206	〔神武天皇山稜荒廃二付申状写〕	元治 1. 6. 下流	谷昌平	-	切紙 一通	一通
207	〔坊舎再興二付願上口上書〕	慶応 2. 9	因幡堂執行薬王院	庭田役人中	巻紙 一冊	一冊

(I 諸触・法令)

208	貴布祢之御裁許状	寛文 4. 3. 15	-	賀茂社家中	巻紙 一冊	一冊
209	〔貴布祢谷一件覚書〕	享保 20. 6	-	-	巻紙 一冊	一冊
210	官家ヨリ被仰渡御書付三通之写	寛政 4. 7. 11	-	-	巻紙 一冊	一冊
211	〔院北面二被仰出之趣二付覚帳〕	文化 14. 3	-	-	巻紙 一冊	一冊
212	御諭号宣下一会	天保 12. 閏 1. 25	-	-	巻紙 一冊	一冊
213	触書写	明治 4. 3	-	-	巻紙 一冊	一冊
214	〔諸触留〕	明治 4	-	-	巻紙 一冊	一冊
215	〔家券発行之書式二付帳〕	明治 7. 12	京都府知事長谷信篤	-	巻紙 一冊	一冊

131

② (J) 諸証文・書状)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
216	〔賀茂社内陣置願喰損一件二付書付〕	寛延 2. 9. 14	-	-	縦帳	一冊
217	神道講二ノ坪田地準人大夫年頭懸合 手続	安政4.10.19	-	-	縦帳	一冊
218	賀茂社職領田地方分帳	貞享 1	-	-	縦帳	一冊
219	方領米請取帳	天明 1. 10	中井但見他	-	縦帳	一冊
220	奉差上証文之事	宝暦 4. 3	神主富野大藏権大輔他	奉行	縦帳	一冊
221	〔京都府税領収証書〕	明治33. 2. 15	上賀茂村収入役三宅重次郎	増沢季の	切紙	一通
222	〔第二期村税領収証書〕	明治33. 4. 2	上賀茂村収入役三宅重次郎	増沢季の	切紙	一通
223	〔所得税領収証書〕	明治32. 3. 27	上賀茂村収入役三宅重次郎	増沢季の	切紙	一通
224	〔村税領収証書〕	明治33. 1. 27	上賀茂村収入役三宅重次郎	増沢季の	切紙	一通
225	〔油紙包二付回章〕	- . 3. 13	役所	大津宿下先 宿々役人共	続紙	一通
226	〔学校・軍隊関係綴〕	-	-	-	綴	一綴
(Kその他)						
227	〔貴布祢社祈禱護摩木〕	-	-	-	木札	一枚
〔「賀茂社」目録〕						
(A 神事)						
番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
1	新宮社御内陣飾之図	宝永 8. 5. 5	巨顯	-	縦紙	一通
2	賀茂皇太神宮神架之由来并調進略 次第	戌. 9. -	-	-	縦紙	一通
3	奉幣之時申次人還祝言次第	-	清茂	-	折紙	一通

4	〔遷宮最略支度物注文〕	-	-	-	豎紙一通
5	〔拔串・脇机等請取〕	-	三右衛門	-	折紙一通
6	〔神供物書上〕	-	-	-	折紙一通
7	〔壇供入用二付覽〕	-	-	-	折紙一通
(B折禱)					
8	〔祝詞雛形〕	-	-	-	豎紙一通
9	〔中宮御産二付神道護摩祈禱札〕	寛永 2. 9. 吉	-	-	切紙一通
10	〔貴布祢社祈禱御札・御守目録〕	寛永 5. 9. 8	(貴布祢社)	-	豎紙一通
11	〔將軍・大御所二献上御守札〕	寛永 6. 吉	-	(中宮)	切紙一通
12	〔文院御所不例二付貴布祢神道祈禱札〕	寛永 7. 5. 3	-	-	切紙一通
13	〔相国御病氣二付神道祈禱札〕	寛永 8. 7. 27	-	-	切紙一通
14	〔將軍祈禱貴布祢勸請幣包紙〕	寛永10. 11. 9	-	-	切紙一通
15	〔將軍不例二付神道祈禱札〕	寛永10. -. -	-	-	切紙一通
16	〔將軍不例二付貴布祢神道祈禱札〕	寛永10. -. -	-	-	切紙一通
17	〔板倉周防守二男不例二付神道祈禱札〕	寛永14. 6. 15	-	-	切紙一通
18	〔神道平癒祈禱札〕	寛永14. 6. 15	-	-	切紙一通
19	〔住吉社巻数〕	正保 5. 今. 今	-	-	切紙一通
20	〔某社巻数〕	慶安 1. 極. -	-	-	切紙一通
21	〔豊臣完子延命祈禱祝詞〕	承応 3. 1. 吉	-	-	切紙一通
22	〔神道祈禱札〕	-	-	-	切紙一通
23	〔貴布祢神道祈禱札〕	-	-	-	切紙一通
24	〔相国二献上貴布祢御守札〕	-	-	-	切紙一通
25	〔貴布祢大明神祈禱札〕	-	-	-	切紙一通

26	〔上賀茂社祝詞下書〕	-	-	-	縦紙	一通
27	〔親王御所当病平癒二付祝詞下書〕	-	-	-	縦紙	一通
28	〔行人汚穢二付祝詞写〕	-	-	-	縦紙	一通
29	〔行人汚穢二付祝詞写〕	-	-	-	縦紙	一通
30	〔貴布祢社祈祷御札包紙〕	-	-	-	縦紙	一通

(C神道)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人宛先)	形状	員数
31	神道印信 初					
-1	初横第一	天文 7. 6. -	大阿闍梨信普	快伝	縦紙	一通
-2	初横第二	天文 7. 6. -	大阿闍梨信普	快伝	縦紙	一通
-3	初横第三	天文 7. 6. -	大阿闍梨信普	快伝	縦紙	一通
-4	初横第四	天文 7. 6. -	大アサリ信普	快伝	縦紙	一通
-5	初横第五	天文 7. 6. -	大阿闍梨信普	快伝	縦紙	一通
-6	神道印信目録				縦紙	一通
-7	〔十種宝物図〕	元和 3. 10. 吉			縦紙	一通
-8	申首乞戒儀 初重	-	-	-	縦紙	一通
-9	鳥居図	-	-	-	縦紙	一通
32	神道印信 第三					
-1	心御主図	-	-	-	縦紙	一通
-2	麗氣灌頂印信	-	-	-	縦紙	一通
-3	弊大事	-	-	-	縦紙	一通
-4	四目事	-	-	-	縦紙	一通
-5	弊串穴	-	-	-	縦紙	一通
-6	心御主	-	-	-	縦紙	一通
-7	権規灌頂	-	-	-	縦紙	一通

33	神道印信 第六							
-1	三輪灌頂	天文 7. 6. -	大阿闍梨信普	快伝	縦紙	一通		
-2	三光灌頂	天文 7. 6. -	大阿闍梨信普	快伝	縦紙	一通		
-3	三輪明神口決大事	-	-	-	縦紙	一通		
-4	諸社口決大事	-	-	-	縦紙	一通		
-5	天長地久大事	-	-	快融	縦紙	一通		
34	神道印信 第七							
-1	熊野権現大事	永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	縦紙	一通		
-2	地藏供行	承応 1. 12. 吉	-	法印雄泉	縦紙	一通		
-3	一於久大事	-	-	-	縦紙	一通		
-4	一七二字大事	-	-	-	縦紙	一通		
-5	血脈図	-	-	-	縦紙	一通		
-6	光明灌頂	-	-	-	縦紙	一通		
35	神道印信 第八							
-1	行水大事	享祿 3. 2. 26	大阿闍梨勢教	信普	縦紙	一通		
-2	番匠抛大事	天文 7. 6. 1	大アサリ信普	快伝	縦紙	一通		
-3	伊勢拍手大事	-	-	-	縦紙	一通		
-4	麗氣灌頂印信	-	-	-	縦紙	一通		
-5	祝詞大事	-	-	-	縦紙	一通		
-6	神道進酒大事	-	-	-	縦紙	一通		
-7	神道注連大事	-	-	-	縦紙	一通		
-8	論之大事	-	-	-	縦紙	一通		
-9	社戸開大事	-	-	-	縦紙	一通		
36	神道印信 極秘							
-1	神参七種秘印	-	-	-	縦紙	一通		
-2	見僧大事	-	-	-	縦紙	一通		

3	小兒懷犯法	-	-	-	豎紙	一通
4	男子犯罪消滅法	-	-	-	豎紙	一通
5	神道淫欲消滅法	-	-	-	豎紙	一通
6	触穢除滅大事	-	-	-	豎紙	一通
37	〔神道印信〕	-	-	-	-	-
-1	祝詞	-	-	-	豎紙	一通
-2	子良大事	-	-	-	豎紙	一通
-3	普門品大事	-	-	-	豎紙	一通
38	〔熊野權現灌頂印信〕	-	-	-	豎紙	一通
39	〔熊野權現灌頂口伝 一〕	-	-	-	豎紙	一通
40	熊野十二所權現御本地印明次第	-	-	-	豎紙	一通
41	麗氣記三國相承系図	-	-	-	豎紙	一通
42	麗氣灌頂印信	-	-	-	豎紙	一通
43	〔神祇灌頂口伝〕	-	-	-	豎紙	一通
44	〔遷宮大事口伝〕	-	-	-	豎紙	一通
45	〔遷宮用意秘略印信〕	-	-	-	豎紙	一通
46	〔新古造社支度記印信〕	-	-	-	豎紙	一通
47	〔神道系図〕	-	-	-	豎紙	一通

(D系図・社職)

番号	文 書 名	作成年月日	差 出 人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
48	〔叙位申文〕	寛政 1. 3. 6	從四位上賀茂季梁	-	折紙	一通
49	〔履歷書上〕	明治 6. 3. -	士族増沢季宴	-	單紙	一通
50	〔芝清濟神主転任二付〕御書渡之写	-	-	-	折紙	一通
51	〔山本家略年譜〕	-	-	-	豎紙	一通
52	〔上賀茂社・貴布祢社神職名前注文〕	-	-	-	切紙	一通

53 [小折紙] - 増沢玄蕃大夫季宴 折紙 一通

(E記録)

番号 文 書 名 作成年月日 差出人(作成者) 受取人(宛先) 形状 員数
54 [社家日記帳外れ] - 増沢玄蕃大夫季宴 増沢季扶 縦帳 一冊
55 [西南革新御賞典二付]記 -. 5. 14 本村作式 切紙 一通

(F文化・教養)

番号 文 書 名 作成年月日 差出人(作成者) 受取人(宛先) 形状 員数
56 (唄本)万おほへ帳 文久 3. 6. 吉 岡本曾免尾 横半帳 一冊
57 (長唄稽古本)あたかの杜 - 吉野屋勘兵衛版 版本 一綴
58 (長唄稽古本)十二月手まり歌 - 吉野屋勘兵衛版 版本 一綴
59 (長唄稽古本)願人坊 - 横半帳 一冊
60 (唄本)月下の戯陰 - 横半帳 一冊
61 (唄本)かなわ - 横半帳 一冊
62 (唄本)石動丸 - 横半帳 一冊
63 (唄本)紅葉つくし - 横半帳 一冊
64 (唄本)種すき三番叟 - 横半帳 一冊
65 [楽 復文] 朝井景福 横半帳 一冊
66 [撫箏雅譜集] (西池)初雄 横半帳 一冊
67 (詞書)歌能帳 西池はつを 横半帳 一冊
68 [詞書]歌能帳 - 横半帳 一冊
69 (詞書)京しらべ 岡本氏 横半帳 一冊
70 [万葉集・古今集抜書] - 横半帳 一冊
71 [易知録抜書] - 横半帳 一冊
72 [漢籍抜書] - 横半帳 一冊

- 73 〔漢籍拔書〕 - - 罽紙 一通
- 74 〔地理・科学習記〕 - - 罽帳 一冊
- 75 〔毛利氏関係軍記物断簡〕 - - 帳外丸 一枚
- 76 〔関ヶ原合戦関係軍記物断簡〕 - - 帳外丸 一枚
- 77 〔漢詩下書〕 - - 罽紙 一通
- 78 〔漢詩下書〕 - - 罽紙 一通
- 79 〔漢詩習書〕 - - 罽紙 一通

(H諸願)

- 番号 文 書 名 作成年月日 差出人(作成者) 受取人(宛先) 形状 員数
- 80 〔諸願并留写〕 嘉永年間 - - 罽帳 一冊
- 81 山稜御修營二付上書(表紙) - 谷昌平 - 帳外丸 一枚
- 82 〔国体護持・綱紀振振等二付〕 建論 (増沢) 季扶 各先生 罽紙 一通
- 83 〔議案第四・七題二付〕 愚考 - - 罽帳 一冊

(I諸触・法令)

- 番号 文 書 名 作成年月日 差出人(作成者) 受取人(宛先) 形状 員数
- 84 賀茂社中掟条々 万治 1. 12. - 虎千代大夫他 罽紙 一通
- 85 〔橋氏は定状〕 延宝 6. 12. 13 散位橋朝臣香夏他 罽紙 一通
- 86 〔京都町奉行裁許状〕 明和 3. 1. - 播磨・阿波 - 罽紙 一通
- 87 〔熱田社参向二付〕 配符 卯. 3. 13 増沢勘解由 宿々問屋 折紙 一通
- 88 〔熱田社より帰京二付〕 配符 卯. 3. 15 増沢勘解由内松田勘三郎 宿々問屋 折紙 一通
- 89 〔住吉社より帰京二付〕 配符 亥. 7. 1 増沢勘解由内下川甚之助 宿々問屋 折紙 一通
- 役人中
- 役人中
- 役人中

90	(玉津嶋社より帰京二付) 配符	亥. 9. 24	禁裏御内増沢勘解由	宿々問屋 役人中	折紙	一通
91	(玉津嶋社より帰京二付) 配符	亥. 9. 25	禁裏御内増沢勘解由	宿々問屋 役人中	折紙	一通
92	(伊勢山田より帰京二付) 配符	- . 1. 12	増沢勘解由内下川甚之助	宿々問屋 役人中	折紙	一通
93	(伊勢山田より帰京二付) 配符	- . 5. 9	進藤敦馬内高田弥太郎	宿々問屋 役人中	折紙	一通
94	(人足差出二付) 配符	-	増沢勘解由内下川甚之助	宿々問屋 役人中	折紙	一通
95	[京都府達・太政官通達写]				綴	一綴
-1	[製茶二付京都府達]	明治 4. 3. 18	京都府	-		
-2	[薬物真價検査二付京都府達]	明治 4. 3. 7	京都府	-		
-3	[武官軍服使用二付京都府達]	明治 4. 3. -	京都府	-		
-4	[士族卒表札文字二付京都府達]	明治 4. 3. -	京都府	-		
-5	[海軍兵学寮入寮規則二付太政官通達]	明治 4. 2. -	太政官	-		

(J)諸証文・書状)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
96	永代売渡申妙観寺正税米事	永禄 4. 3. 16	電福大夫氏福	-	縦紙	一通
97	御講中へ借物覚	慶安 2. 7. 20	(花押)	-	折紙	一通
98	[名前回数書上]	慶安 4. 10. 9	-	-	折紙	一通
99	[準人助・八女の進退二付一札]	万治 3. 2. 26	西池備中守他	西池	縦紙	一通
100	沽券添状控	寛文 4. 5. 6	山本縫殿道俊他	-	綴	一綴
101	永代売渡申年貢米之事	辛未. 9. 29	中大路豊後守利顕他	年行事山本	縦紙	一通

102	(借屋代銀等支配勘定二付) 覚	巳. 3. -	-	内蔵助他	切紙	一通
103	(くす代銀等二付) 覚	巳. 7. 晦	-	-	豎紙	一通
104	御預之覚	未. 9. 26	手伝方六郎兵衛	奉行	切紙	一通
105	(戸田采女正書状綴)					
-1	(年甫之嘉詞二付書状)	- . 2. 7	戸采女正氏教	桂彦右衛門	折紙	一通
-2	(年甫之嘉詞二付書状)	- . 2. 6	戸采女正氏庸	桂彦右衛門	折紙	一通
-3	(年甫之嘉詞二付書状)	- . 2. 2	戸采女正氏彬	桂彦右衛門	折紙	一通
-4	(年甫之嘉詞二付書状)	- . 2. 1	戸采女正氏正	桂彦右衛門	折紙	一通
-5	(年甫之嘉詞二付書状)	- . 2. 18	戸采女正氏教	桂彦右衛門	折紙	一通
106	(白米・からかさ請取二付) 覚	- 閏2. 12	二郎作・左兵衛	-	豎紙	一通
107	(正本二巻借用二付書状)	- . 3. 14	皆明寺	岡本作右衛門	折紙	一通
108	(御馬衆参詣等二付書状)	- . 5. 5	西池長門玄久他	将監他	折紙	一通
109	(向人御免二付書状断簡)	- . 5. 9	御経蔵	増沢季的	切紙	一通
110	(神道講中入用覚)	- . 6. 8	-	-	折紙	一通
111	(買物代銭覚)	- . 9. 5	-	-	切紙	一通
112	(参籠二付書状)	- . 9. 6	西池長門他	山本右近他	折紙	一通
113	(人足出申候条二付書状)	- . 9. 3	藤木刑部友直	藤木主馬助	豎紙	一通
114	(買物代銀二付) 覚	- . 9. 10	かへの守他	とのもの頭他	切紙	一通
115	(極腸所へ出仕二付書状)	- . 10. -	兼陽	藤木主馬助	切紙	一通
116	(出京二付書状)	-	西池左兵衛他	西池主殿頭他	豎紙	一通
117	(人足十二人二付書状)	-	二池之作	山将監	豎紙	一通
118	江戸山本友仙老へ遺状之案	-	-	-	豎紙	一通
119	(勤行二付書状下書)	-	-	-	豎紙	一通
120	(書状下書断簡)	-	-	-	切紙	一通
121	(代銀差引勘定)	-	久兵衛	五助	切紙	一通

122	〔折袴料銀子二付覚〕	-	沙汰人	豊後守	切紙	一通
123	〔借入金銀勘定覚〕	-	-	-	豎紙	一通
124	〔買物代銭覚〕	-	-	-	豎紙	一通
125	〔葉など勘定二付覚〕	-	-	-	切紙	一通
126	〔余り銀遣シ方二付覚〕	-	-	-	折紙	一通
127	〔文鎮・イモ等買物二付〕覚	-	-	なかおうら	切紙	一通
128	〔土器等買物二付〕覚	-	-	丁ふんこ	切紙	一通
129	〔出銀子請取二付覚〕	-	-	-	折紙	一通
130	〔米石遣シ方二付覚〕	-	-	-	切紙	一通
131	〔十五人振舞二付遣方覚〕	-	-	-	折紙	一通
132	〔寅・卯年巻岐重右衛門年貢未進二付覚〕	-	-	-	豎紙	一通
133	〔利息銀高二付覚〕	-	三右衛門	-	豎紙	一通
134	〔銀子渡高覚〕	-	-	-	豎紙	一通
135	〔京箔定殿分六ヶ年賦割済袋〕	-	-	京屋喜右衛門	袋	一袋
136	経田後家浪返御届	明治 7. 4. -	増沢季宴他	-	罫紙	一通
137	〔大津引越二付辞別状〕	明治25. 6. 3	羽山六郎ほか	増沢季政	豎紙	一通
138	〔尊父御入替二付書簡〕	明治28. 2. 11	友美	季政	続紙	一通
139	〔書簡包紙〕	(明治)	京都府士族増沢寸九和	-	豎紙	一通

(Kその他)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人(宛先)	形状	員数
140	気遣酒酔事	-	-	-	豎紙	一通
141	〔五色光明二付付箋〕	-	-	-	切紙	一通
142	〔氏人廻文断簡〕	-	-	-	豎紙	一通

〔「祝詞」目録〕

(B祈祷)

番号	文書名	作成年月日	差出人(作成者)	受取人宛先	形状	員数
1	〔中宮御座皇子降誕祈祷祝詞下書〕	寛永 5. 8. -	-	-	豎紙	一通
2	〔徳川家光痲瘡快氣加持祈祷祝詞〕	寛永 6. . 14	賀茂泉主等	-	豎紙	一通
3	〔祈祷屈書〕	寛永 6. . -	賀茂氏人中	円坊	豎紙	一通
4	〔文院御不例二付祝詞〕	寛永 7. 4. 7	賀茂泉主氏人中	-	豎紙	一通
5	〔中和門院御不例二付貴船社祝詞〕	寛永 7. . -	賀茂泉主等	-	豎紙	一通
6	〔大相国尊閣当病平癒二付祝詞〕	寛永 8. 7. 吉	賀茂泉主等	-	豎紙	一通
7	〔徳川秀忠御不例快氣祈祷祝詞〕	寛永 8. 8. 3	賀茂氏人中	-	豎紙	一通
8	〔徳川家光心身堅固寿命長遠祈祷祝詞〕	寛永 10. 11. 9	賀茂泉主等	-	豎紙	一通
9	〔賀茂別雷社御誥経所御祈祷所巻数〕	慶安 2. 12. 吉	大衆等	-	豎紙	一通
10	〔地藏供所勤行巻数〕	慶安 2. 12. 吉	権大僧都雄泉	-	豎紙	一通
11	〔太元護摩所勤行巻数〕	慶安 3. 1. 13	阿闍梨僧正法印大和尚位觀助	-	豎紙	一通
12	〔不動明王護摩供所勤行巻数〕	慶安 3. 1. 吉	阿闍梨宥海	-	豎紙	一通
13	〔御祈所勤行巻数〕	承応 1. 12. 28	阿闍梨二品親王尊純	-	豎紙	一通
14	〔祇園社巻数〕	承応 1. 12. 吉	法主	-	豎紙	一通
15	〔賀茂別雷社御祈禱所御誥経所巻数〕	承応 1. 12. 吉	大衆等	-	豎紙	一通
16	〔賀茂別雷社巻数〕	承応 2. 1. -	正五位下賀茂泉主普久	-	豎紙	一通
17	〔賀茂別雷皇大神宮巻数〕	承応 2. 1. -	散位賀茂泉主保可	-	豎紙	一通
18	〔九条御家門家内榮耀等二付祝詞案〕	承応 2. 5. 吉	-	-	豎紙	一通
19	〔今上皇帝痲瘡平癒祈祷祝詞〕	承応 3. 9. 19	賀茂氏人中	-	豎紙	一通
20	〔毎月行事祝詞覽〕	-	-	-	豎紙	一通
21	〔御札包紙〕	寛永 3. 11. 17	-	-	豎紙	一通
22	〔神符包紙〕	寛永 3. 11. 17	-	-	豎紙	一通

23 〔女院御不例二付祝詞包紙〕

寛永 7. 4. 7

豎紙一通

(C神道)

番号 文 書 名

作成年月日

差 出 人(作成者)

受取人宛先)

形状 員数

24	熊野権現大事	報身	永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
25	八幡授三輪上人印明荒神一印大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
26	先立大事	極秘	永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
27	伊勢太神宮事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
28	遷宮大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
29	瑞籬大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
30	天神大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
31	神仏本迹事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
32	御神殿大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
33	天神灌頂		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
34	遷宮口伝大事	其作法	永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
35	神祇奥旨灌頂口決		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
36	鳥居大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
37	二所參詣大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
38	伊勢二字大事		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
39	神祇灌頂		永正10. 9. 22	大阿闍梨法印行慶	行与	豎紙一通
40	神代卷秘決法条	熊野參詣事	天文 7. 6. 1	大阿闍梨信普	快伝	豎紙一通
41	玉置権現法条大事		天文 7. 6. 1	大阿闍梨信普	快伝	豎紙一通
42	御流神道一流灌頂職位附法状事		元和 3. 10. 5	法印大阿闍梨性慶	上賀茂臈主 散位良直	豎紙一通

45 (F文化)

- 43 源頼朝謹奏聞条々事(吾妻鏡抜書) 元暦 1. 11. - (源頼朝) 縦紙 一通
 44 病患図 元和 3. 10. 吉 法印性慶 - 卷子 一卷

(G武芸)

- 45 橘家鳴弦巻 元禄 4. 12. 16 橘朝臣(玉木)正英 怡顔齋成章 卷子 一卷

(I諸触・法令)

- 46 伝灯法印様工先可得御意事 元和 4. 11. 21 月行事右衛門大夫他 縦紙 一通
 47 定 置文之事(伊勢下向二付) 天和 5. 3. 11 兵部少輔他11名 縦紙 一通
 48 定 社頭衆指副評定衆中置文之事 寛永 4. 10. 11 沙汰人 縦紙 一通

(J諸証文・書状)

- 49 [諸文書借主二付覚] (寛永頃か) - 縦紙 一通
 50 奉寄附本役米之事 元禄 9. 5. 11 藤木備中守国蹟他 縦紙 一通
 51 [明治期書状綴] (明治初期) - 綴 一綴

(Kその他)

- 52 [礼紙] (明治期か) 増沢 折紙 一通
 53 [白紙] - - 六枚